

2018年度 事業計画



高松空港株式会社



成長目標と取組方針

15年後の将来像実現に向けた“**成長基盤形成期間**”の初年度として、成長目標の早期達成を目指し、旅客数増加に向けた受入環境の整備や利用者の利便性向上に取り組めます。



目標値

	現状 (2016年度)	2018年度
旅客数	188 万人	216 万人
国内	165 万人	186 万人
国際	23 万人	30 万人
取扱貨物量	0.6 万トン	0.6 万トン



主要財務項目

項目	2018年度 (単位:百万円)
営業収益	2,275
空港運営事業	899
ビル施設事業	1,367
営業費用※ (うち、減価償却費)	2,602 (563)
内 空港運営事業	1,103
内 ビル施設事業	1,145
営業利益(償却前)	236
営業利益	▲327
当期純利益	▲385

※運営権償却費を含む



成長目標の達成に向けた取り組み

旅客数・取扱貨物量の増加

エアラインマーケティング

- 自治体とのパートナーシップ協定に基づくエアライン誘致協議会の設置
- エアライン誘致協議会における高松空港の成長ビジョンの策定
- 新規就航や増便等を促す新たな料金体系の導入
- 地域と一体となったエアライン誘致体制の構築とエアラインへの継続的な営業活動
- エアラインとタイアップしたプロモーション

空港アクセスの強化

- 二次交通事業者と連携した高松駅・高松港へのアクセス利便性の向上
- 二次交通事業者と連携した四国瀬戸内の主要な都市・観光地へのアクセス手段の拡充

安全・安心な空港運営

- 長期にわたって安全・安心を確保する実施体制の構築

利用者の利便性向上

駐車場

- 事前精算機の設置や駐車場出口増設
- 決済機能の強化
- カーシェアリングサービスの開始
- 立体駐車場工事の着手

国際線免税店舗

- 免税店舗の拡張
- 商品ラインナップの拡充

国内線出発ラウンジ

- ラウンジ空間の拡張
- 家具やソファの入れ替え

案内サービス

- インフォメーションセンターの多言語対応強化
- インフォメーションセンターにおける二次交通の乗継周遊切符の販売
- 館内や観光地へのアクセス手段に関する案内サインの見直し
- ホームページのリニューアル

設備投資計画

空港活性化を目的とする設備投資

投資総額 約18.3億円

<主な投資項目>

- 国内線出発ラウンジの改修
- 免税売店の拡張
- 駐車場の利便性向上(事前精算機の設置、立体駐車場工事着手等)

出発ラウンジ改修後のイメージ



空港機能維持を目的とする設備投資

投資総額 約2億円

<主な投資項目>

- 旅客ビル施設に関する修繕・更新 等